

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月11日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902678		
法人名	社会福祉法人 友和会		
事業所名	グループホーム きらら		
所在地	北海道旭川市東光17条8丁目1番10号 (電話) 0166-33-2163		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月10日	評価確定日	平成21年3月17日

【情報提供票より】(平成21年1月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月30日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	1人, 非常勤 9人, 常勤換算 5.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000・31,000円	その他の経費(月額)	19,000~25,000円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900円

(4) 利用者の概要(1月20日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	3名	要介護2	5名		
要介護3	1名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 88歳	最低	74歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	おうみや内科・圭泉会病院・ファースト歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

食の安全に配慮しながら、その日の利用者の食べたいものや好み、栄養バランスも考慮し、食事をおいしくなるように工夫している総合福祉施設を運営する母体法人の中の1ユニットのグループホームです。また、一人ひとりの希望に沿って田村ファームやすし六などの外食や冬祭り、お花見、紅葉見物等戸外に出かけられるように支援しています。自分の欲しいものを自分で選んで購入することで生活の意欲を掻き立てたり、季節の移り変わりを肌で感じてもらう取り組みも買物などを通して行われています。ホーム内では、利用者が集い職員と一緒にトランプや花札などゲームを楽しんだり、雛祭りのさくら餅をつくったり笑顔が絶えない和やかな雰囲気です。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、職員の段階に応じた育成に関して改善点が見い出されていましたが、地域のケア研究会や包括支援センター、市主催の研修会等の参加を通じてケアサービスの質の向上に取り組んでいます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、全ての職員が参加して評価が実践され具体的な改善に取り組んでいる。また、自己評価は、特に力を注ぎ職員の教育や研修の機会として利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、定期的実施され、主な議題は 利用状況及びホームの取り組みについて 離設についての状況と対策及び離設捜査マニュアルの説明と意見交換 外出行事の状況について 運営推進会議は、家族や町内会役員、地域の人々が参加して開催されていますが、今後2ヶ月毎の記録の維持を期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪を多く希望し、利用料の支払いを毎月直接持参戴くので、その際に健康状態や日常生活の様子を伝え要望や不安に対する話し合いが行われ介護計画や運営に反映されています。また、玄関入り口付近に苦情箱を設置して、意見や苦情を表せる機会を設けています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	併設するデイサービスとの「きらら祭り」では、利用者・家族、近隣住民、高校吹奏楽部や神楽岡太鼓保存会などボランティアが参加して、地域との交流や連携が行われています。また、地域ボランティア・ヘルパーや福祉専門学校の実習生の受け入れなどホーム機能を地域に還元する取り組みも実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念「愛・感謝・希望」に基づいて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、同一敷地内に母体法人の生活支援ハウス、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所があり、地域に根ざした活動が行われている。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有空間に掲示して共有し、利用者のあるがままを受け入れその実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設するデイサービスとの「きらら祭り」では、利用者・家族、近隣住民、高校吹奏楽部などボランティアが参加して、地域との交流や連携が行われている。また、地域ボランティア・ヘルパーや福祉専門学校の実習生の受け入れなどホーム機能を地域に還元する取り組みも実践されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、全ての職員が参加して評価が実践され具体的な改善に取り組んでいる。また、自己評価は、特に力を注ぎ職員の教育や研修の機会として利用されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、定期的開催され、委員は、家族、元市民委員会役員、専門学校講師、管理者及び職員で構成され具体的活動に取り組んでいる。		運営推進会議は、家族や町内会役員、地域の人々が参加して開催されていますが、今後 2ヶ月毎の記録の維持を期待します。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、日常業務を通じて包括支援センターとの連携や研修会参加を通じて交流を深めサービスの質の向上に取り組んでいる。また、市主催の研修会、講習会参加で交流ができるようにしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、家族の来訪がこまめにあるので、その際に日常生活の様子や健康状態についての報告や異変時には、逐次電話連絡で報告され話し合われています。また、金銭管理については出納が定期的に報告されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪を多く希望し、利用料の支払いを毎月直接持参戴くので、その際に健康状態や日常生活の様子を伝え要望や不安に対する話し合いが行われ介護計画や運営に反映されている。また、玄関入り口に苦情箱を設置して苦情を表せる機会を設けています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職率は低く、異動なども配慮され利用者に影響を与えないような取り組みが行われている。また、共用空間には職員その日の勤務者が分かるように顔写真付きで表示され利用者が毎日確認している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>地域のケア研究会や包括支援センター、市主催の研修会等の参加を通じてケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、職場内でも認知症や夜勤時などの対応方法について実務的に研修が行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ケア研究会で地域のグループホームとの意見交換や研修会が行われ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、トランプや花札などのゲームや調理の下ごしらえ、配膳や下善、さくら餅などのおやつ作りなど、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めてトランプや花札、散歩や買物、寿司などの外食への支援を本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や要望、医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。また、計画～記録～評価の一連の業務が連続している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買物、外食や紅葉見物、通院や往診など事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、常勤の看護職員の日常的健康管理や納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から家族の意志が確認され、方針が職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録等の取り扱いをしている。また、朝の申し送り時に傷つく言葉遣い等話し合われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や買物、トランプや花札、花見や紅葉見物、北鎮記念館訪問、ぜぶるの丘などの外出やすし六や田村ファームでの外食などその日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら職員と一緒に準備などを行っている。また、肉や魚など本人の嗜好に合わせて都度、配慮しながら工夫している。		特筆すべき点として、一人ひとりの希望や思いを大切にして、食べたいものがあればメニューの変更にも即座に対応しています。また、食事も美味しく皆さんの表情も明るく食欲も旺盛でした。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴が楽しめるように週2～3回を目安に支援している。また、拒否の強い利用者にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、散歩や買物、畑での野菜作りやトランプや花札などのゲーム、紅葉見物や冬祭りに出かけるなど楽しみごとや気晴らしの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	花見や紅葉見物、北鎮記念館やぜぶるの丘などの外出やすし六での外食の機会が作られ戸外に出かけられるよう支援している。		特筆すべき点として、自分の欲しいものを自分で選んで購入することで生活の意欲を掻き立てたり、季節の移り変わりを肌で感じてもらう取り組みも買物などを通して行われている。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者及び職員は、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>開設当初より、全館スプリンクラーが設置され通報システムも整備されている。また、定期的な避難訓練も実施され、設備の点検も実施されている。</p>		<p>特筆すべき点として、緊急時に速やかに対応できるように吸引器の配置や感染症対策のために感染症対策キットが用意されていたり、食洗器で殺菌するなど対策が講じられています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事や水分の摂取量、栄養バランスや摂取カロリーがおおよそ把握され、一人ひとりの状態に応じた支援がされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内では、利用者が集い職員と一緒にトランプや花札などゲームを楽しんだり、雛祭りのさくら餅をつくったり笑顔が絶えない和やかな雰囲気です。また、広いベランダからは敷地や畑などが眺められ季節感や開放感が感じられる。利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、遺影や仏壇、冷蔵庫やテレビ、箆笥や食器棚などの馴染みのものや家族の写真、観葉植物が飾られ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。